

こんな高校生生まれ!



私に+1

人間の尊厳を守り、
基本的人権を尊重する
ことができる人

あなたに+1

社会福祉に興味を
持ち、共感的態度
をもって、人を支
援することを志向
できる人

社会に+1

健康長寿社会の課
題に関心を持ち、
地域社会と関わり
ながら、その解決
に向け積極的に取
り組むことができ
る人

CHECK!!
福祉+1の夢を
叶えた先輩たち

練馬区役所

「聞く」だけではなく、「受け止める」ケースワークを



区民センターで生活保護のケースワーカーとして働いています。担当地区のご自宅訪問、センターでの相談対応や保護費に関する事務作業などを行いながら、受給者の方の自立に向けてサポートします。受給者の方と信頼関係を築くことは大変ですが、相手の話を「傾聴」することを意識しています。視覚障がいのある方のケースでは、訪問・相談を重ねながら、通院やヘルパーによる介助を導入していただける段階まで支援することができました。支援においては、大学時代にお世話になった今井先生の「制度やサービスの“知識”、それを伝える“技術”、助けたいという思い“価値”」という信条を大切にしています。今後も、「相談したい」と思っていただけのケースワークに取り組みたいです。

栗橋ナーシングホーム 翔裕園

家族との関係や実習での経験が、介護福祉士の礎となっています



介護老人保健施設(老健)で介護福祉士をしています。食事や排泄の介助、イベントの企画、家族面会の補助などを行いながら、利用者の「できることを活かす介護」を日々考えています。施設内には看護課やリハビリ施設もあるため、幅広い介助知識を応用し、各専門職の方々と協働して在宅復帰をめざし支援できることにやりがいを感じます。介護職を志したのは、家族の影響が大きいです。幼い頃から家庭内で介護や医療にふれる機会が多く、大学での「介護実習」から老健を志望するようになりました。利用者目線の介護プログラムを学んだ経験は、現在行っている「身体状況を考慮した多様性のある介護」を意識するきっかけになったと思います。今後も、心と身体に寄り添うケアをめざします。

Jumonji University

人間生活学部 人間福祉学科

令和5年
公務員採用率 **94%**

社会福祉士合格率
74.1%(全国平均44.2%)

「こども家庭福祉・行政コース」
「総合福祉・介護福祉コース」へ
リニューアル!

埼玉県
私立大学
2位
1位 立教大学
2位 十文字
3位 文教大学

01 POINT 地域と連携した学びで実践力が身につく
地域貢献、ソーシャルワークの実践の場としての人材育成

02 POINT 社会福祉分野の中心となる人材を養成
社会の変化に対応し、社会的要請・課題に応える社会福祉、こども家庭福祉、及び介護福祉のスペシャリストの育成を目指します

03 POINT 福祉専門職をめざす2つのコース
1年次から両コースにてこども家庭福祉、介護福祉、行政福祉について段階的・包括的に学ぶことができます。卒業までに関心や資格取得に応じて社会福祉に関する専門的な知識・技術を選択して積み上げていきます。

こども家庭福祉・行政コース

社会福祉士 国家試験
受験資格 保育士資格

社会福祉士 国家試験
受験資格 + 保育士資格

総合福祉・介護福祉コース

社会福祉士 国家試験
受験資格 介護福祉士 国家試験
受験資格

社会福祉士 国家試験
受験資格 + 介護福祉士 国家試験
受験資格

定員 **50名**

定員 **20名**

広く社会福祉分野において活躍し
人の役に立つことの出来る人材を育成します



社会福祉法人錦華学院
児童養護施設 錦華学院

川口市立高校 出身

私は、入学前から子どもに関わる仕事に就きたいと思っていましたが、具体的なイメージは持てませんでした。しかし大学で、保育・児童家庭福祉・子育て支援など福祉の面も幅広く学び、実習では、子どもが何を必要としていて、どのような環境が最善であるのか常に考える事が大切だと気付き、自分も成長することができました。これからは、子ども一人ひとりを尊重し、小さな事にも耳を傾け寄り添う保育士になりたいと思っています。



社会福祉法人 育秀会
特別養護老人ホーム 育秀苑

埼玉県立富士見高等学校 出身

私は、高校生の時に高齢者の方と関わる仕事に就きたいと思い、この大学に入学しました。在学中は、高齢者分野だけではなく社会福祉の勉強もを行い、児童や障害等の他分野の知識も得られ、将来の道の幅を広げることができました。また、実習や演習の授業も多く、座学で学んだことをより深く理解することができました。今後は、これらの学びを活かし、利用者の気持ちに寄り添えるような介護職員を目指したいです。



他者とのコミュニケーションスキルを高めることで、AI時代でも必要不可欠な、人でなければできない「人と関わる仕事」を担える人材を育てます。

社会福祉

こども 家庭福祉

児童養護施設

保育所

乳児院

地域包括支援センター



行政福祉

児童相談所

地方公務員

保護観察官



高齢者福祉

高齢者施設

介護予防



障がい者 福祉

放課後児童
デイサービス

児童発達
支援センター



墨田区役所

東京都立竹台高等学校 出身



私は将来子どもに関わる仕事に携わりたいと思いこの大学に入学しました。しかし、授業で児童分野だけでなく高齢、障害など、幅広く福祉について学ぶことができ、自分自身の視野を広げることができました。また、座学だけでなく、実習や先生方の実体験を交えたお話から実際の現場についても学びを深めることができました。これからはこの学びを活かして、福祉の専門職だからこそできる支援を行っていきたいと思います。

社会福祉法人 優幸会 みちる園

埼玉県立久喜北陽高等学校 出身



私はもともと介護施設で働こうと思い、大学で介護の勉強をしてきましたが、実習で初めて障害者施設に行ったことがきっかけで障害者支援施設に就職することになりました。介護の授業・実習で学んだ“利用者主体”は障害者支援でも同じと考えるため、これからも利用者主体で考えることを忘れず、その人の性格・雰囲気・個性などを活かした支援ができる職員を目指したいです。

ボランティア活動



地域の方々と連携し、様々な活動を行っています。多彩なアクティブラーニングにより自分の考えを持ち、主体的に学んでいく力を身に付けます。多様な価値観に触れ、他者とのコミュニケーションスキルを高め「人と関わる仕事」「地域社会の課題解決」を探る実践力を磨きます。